

四国活性化フォーラム2011 in 香川

お遍路で絆を結ぼう

日時：平成23年10月1日（土）13：30～16：40

場所：全日空ホテルクレメント高松 3階 飛天の間 800席ほどの椅子が満席の状態

主催：四国新聞社、高知新聞社、愛媛新聞社、徳島新聞社

共催：香川県、高知県、愛媛県、徳島県

後援：四国経済連合会、四国商工会議所連合会、四国ツーリズム創造機構、

日本青年会議所四国地区協議会、『四国八十八箇所霊場と遍路道』世界遺産登録推進協議会

協賛：第一三共、サントリー、大王製紙、SECエレベーター、イオン、ファミリーマートほか

プログラム：

13：00 開場 安藤忠雄氏サイン入り書籍の販売

13：30 開会

主催社代表あいさつ 副家輝（四国新聞社 取締役 y C O O）

最高顧問代表あいさつ 浜田恵造（香川県知事）

13：46 基調講演 「可能性をつくれ」 安藤忠雄（建築家・東京大学名誉教授）

14：48 休憩

15：10 オカリナ演奏&トークセッション 「お遍路で結ぶ絆」

ホンヤミカコ（オカリナ奏者）

住みます芸人 どさけん（香川住みます芸人）

淀家満月（高知住みます芸人）

モストデンジャラストリオ（愛媛住みます芸人）

キャンパスボーイ（徳島住みます芸人）

コーディネーター 宮宇地美穂（フリーアナウンサー）

16：40 閉会

内容：

13:30～ 開会

○はじめに

- ・今日のフォーラムは、四国の宝物を見つけ、地域再生を目指すもの。
- ・安藤忠雄さんによる基調講演、休憩を挟み、オカリナの演奏とトークセッション。
- ・会場で行っている書籍販売

の収益のすべては、東日本大震災で親御さんを亡くされた遺児の育英資金にあてられる。



○顧問等紹介

- ・最高顧問 浜田恵造（香川県知事）
- ・主催社 副家 輝（四国新聞社 取締役 C O O）
岡田憲一（高知新聞社 監事）
土井英雄（愛媛新聞社 代表取締役社長）
植田和俊（徳島新聞社 理事社長）

13:36～13:40 主催社代表あいさつ 副家輝（四国新聞社 取締役C O O）

- ・多数のみなさまに参加いただき、ありがとうございます。
- ・四国4新聞社を代表し挨拶。毎年4県でフォーラムを開催。4年をワンクールとして、地域活性化策に様々な活動を展開。
- ・昨年からはじめたのが、この地域活性化フォーラム。
- ・安藤忠雄さんの基調講演の後、トークセッション「お遍路で結ぶ絆」。
- ・3. 11の震災から我々は、自然の驚異に対する人間の無力さを感じ、一方、人と人が助け合う「絆」の大切さを感じた。「絆」は生きていくため必要なもの。
- ・四国ではお遍路さんに無償で食事やお世話をする「おせったい」のある地域。お遍路が生み出す「絆」の力を考える。

13:40～13:44 最高顧問代表あいさつ 浜田恵造（香川県知事）

- ・香川県でフォーラムが開かれること、歓迎いたします。
- ・四国の4新聞社が平成7年から続けられている企画で、四国の活性化を目指し様々な企画で展開してきた。
- ・本日もたくさんの方にお集まりいただき、盛大に行われることに感謝。
- ・安藤さんの「可能性をつくれ」。お話を楽しみにしているが「可能性」、これが重要なのではないか。
- ・香川では瀬戸内国際芸術祭、徳島はウェルカメ、高知は竜馬伝、愛媛は坂の上の雲。
- ・絆を築き、可能性を生み出していければ。
- ・どさけんさん 夏の暑い中、お遍路さんで歩いていただき、あの体では歩くのが大変だろうと思ったが、一生懸命にやっていただいた。
- ・遍路道を世界遺産に登録するには長い期間を要するが、今日の取組が、登録のきっかけに出来ればと思っている。

13:46～14:48 基調講演 「可能性をつくれ」 安藤忠雄（建築家・東京大学名誉教授）

○はじめに

- ・こんなに天気の良い日に、こんなに人が集まるとは、四国は元気やなあ。それとも暇なんかいなあ。
- ・ベネッセから、「直島を、世界一の美術愛好家が来る島にしたい」との要請。最初は無理やと思った。

- ・人の熱意はすごい。昨年の瀬戸内国際芸術祭では百万人を越える人が来た。

○日本の現状、日本の特徴は

- ・台湾、韓国、中国は元気。しかし、日本は不景気で元気がない。
- ・日本の特徴は、「女性が長生きで、元気で、きれい」。
- ・女性は好奇心がある。「今日は、何しよう、これしよう」と。男性は、仕事をしていてあいだじゅう、利益利益で、元気がない。好奇心がない。
- ・とにかく、元気でなければ。

○ドバイでの事件

- ・ドバイには7回行ったが、3回目に事件が起きた。
- ・私は、ドバイでまる1日仕事をし、0泊5日で行き来している。
- ・空港で待っていると、元気なおばさんが寄ってきた。「安藤さん、何してるの？」
- ・おばさんたちは、ドバイで3泊し、エステを毎日、3日間やったと言う。
- ・安藤：「(その年齢で) エステの効果なんて、期待できんやろう」
おばさんたち：「可能性をかけろ！」
- ・日本は可能性がない。可能性を探さなければならない。
- ・四国も、大阪も、東京も終わっている。可能性はない。

○リーダーシップ

- ・南三陸町 津波で全てが無くなった。
- ・1月1日、生放送での対談番組に出演した。民主党の点数をあげろというので、僕は「30点」を上げた。その理由は、リーダーシップがないから。他の人は「70点ぐらい」をあげた。
- ・日本の国は、これまでリーダーを作る教育をしてこなかった。
- ・「東日本大震災の復興会議の副議長をやれ」と、菅直人総理から電話があった。
- ・僕は、「2030」を掲げた。エネルギー的にも地震前の余裕に戻ったとアピールできないと、エネルギーがない国からは企業がどんどんでていく。
- ・こんな現実的な話をいう会議ではないと、いさめられた。
- ・会議は、3回目ぐらいから財務省が仕切っていましたね。
- ・「エネルギーが無いと日本が生きていけないぞ」と言い続けてきた。復興会議は現実的な話をしないので、もう休んだらと思うたら、「休むのは良いが、辞任は勘弁してくれ」とのことだった。

○鎮魂の森、遺児育英資金

- ・10年間にわたり毎年1万円の寄付。1万5千人、15億円集まっている。大半は女性。
- ・石原都知事から 東京マラソンはなかなか走れない。10万円払うと走れる枠があり、千人で1億円。これを寄付してくれた。「僕(石原都知事)がいる間は続ける」と、はっきりしている。
- ・無印商品、ユニクロの募金箱

- ・現在までに、28億円集まっている。
- ・自分たちに出来ることしかできない、だから僕はこれをやっている。

○ Lafcadio Hean 1850~1904 (小泉八雲)

「自然、家族、地域、国」

Paul-Claudel 1868~1955

Paul-Valery 1871~1945

「世界で一番美しい国」

- ・そのような評価のあった日本
- 今は、教養が少しあるが、「野性」と「野心」が無くなった
- ・戦後日本の反映

○境界を越えて

- ・境界を越えて仕事はするもの。
- ・仕事は、自分が仕事を作り出すもの。
- ・サントリーの建築 「自由」にやってくれとのオーダー。
- ・建築を見せてくれ 予算は1千万円

中庭があり、台所に行くには一度外に出る。二階に寝室が2部屋。

寝室からトイレに行くにも外に出る、雨の日は傘がいる。

暖房はどうするのか？ 寒ければシャツを一枚着ればいい。

もっと寒ければ、王一枚着ればいい。

夜のトイレ、雨が降っている、「あきらめる」こと。

- ・今は「あきらめる」ことが無くなっている。

○「青春」 サミュエル・ウルフマン

青春とは人生のある期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。

優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、

安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。

年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。

歳月は皮膚のしわを増すが情熱を失う時に精神はしぼむ。

苦悶や、狐疑、不安、恐怖、失望、こう言うものこそ

恰も長年月の如く人を老いさせ、精気ある魂をも芥に帰せしめてしまう。

年は七十であろうと十六であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。

曰く「驚異への愛慕心」空にひらめく星晨、その輝きにも似たる事物や思想の対する歓迎、

事に處する剛毅な挑戦、小児の如く求めて止まぬ探求心、人生への歓喜と興味。

人は信念と共に若く

人は自信と共に若く

希望ある限り若く

疑惑と共に老ゆる

恐怖と共に老ゆる

失望と共に老い朽ちる

大地より、神より、人より、美と喜悦、勇氣と壮大、
偉力と靈感を受ける限り人の若さは失われない。

これらの靈感が絶え、悲歎の白雪が人の心の奥までも蔽いつくし、

皮肉の厚氷がこれを固くとぎすに至ればこの時にこそ人は完全に老いて神の憐れみを乞う他はなくなる。

○海に出っ張る建築 ← サントリーのために設計した

- ・縦割り 運輸に説明に行く時は建設省は了解したように思わせる、運輸省と建設省は相談しない、大阪府は国と相談しない、
- ・転落防止のワイヤー 落ちることがあってもいいではないか 過保護すぎる

○大山崎美術館

- ・京都府の土地にまで及ぶ建築。
- ・京都府から土地を借りて。

○8坪の土地に美術館 予算2,600万円

- ・洋バスがいる。
- ・階段は画廊 天井は高い しかし洋バスがない
- ・1週間後 銭湯を紹介してやった
- ・建物の幅は1.7mしかない。

○木を戻す、森に戻す

- ・瀬戸内海の島は2千以上あるといわれている。
- ・ゴルフ場にしようとして、会社が潰れたのか、途中で放置されている島。
- ・まず木を植えていこう。1989年頃から植樹。
- ・現代美術はわかりにくいものばかり。
- ・こだまさん カボチャ 前向き
- ・流木で円を形作っている
- ・民家を保存する。

- ・自分が10分間我慢したことに感動している。
- ・結局は自分だ。

○地中美術館

- ・美しい瀬戸内海を見たい。建物なんて見たくない。だから地中に造った。
- ・建築ばかり見る人、美術品を見る人。人それぞれ。
- ・世界でも大きな橋がかけられているが、どこが受注しても施工は日本がやる。建設省がいらぬ橋をたくさん架けて練習しているので。

○神戸市立長尾小学校

- ・森の中の小学校にしよう！
- ・子どもに面倒をみる場所を割り当てる。小学1年生から6年生までの6年間、毎日水をやり続ける。担当を決め、6年間面倒をみて、リレーを引き継いでいく。
- ・あるとき教頭が、「僕はやりたくない。子どもが斜面から落ちたらどうするのか」。効果、必要性を称えた。対話、会話が大事。

○まちづくり

- ・いらなくなった民家を、村人が組み立てる。

○ベニスで美術館を作る

- ・有るものを生かして、無いもの（空間）を作る

○美しい大阪 桜を植える

- ・仕事がない、違法駐車、モラルがない 無い無いづくりの大阪
- ・桜1本は15万円で植えて管理できる。3千本なら4億5千万。
- ・桜に寄付した人の名前を書き、1万円ずつ4万5千人集める。半年で2万7千人集めた。 → 大阪市もしょうがないなあ
- ・今では5万2千人集まっている。
- ・河原にも通り抜けの桜。
- ・河川に巨大なアヒル 船がぶつかるから危ない
- ・カヌー 子供が落ちる 反対はある
- ・企業が、何が出来るか
- ・個人が、何が出来るか 個人は千円ですよ
- ・一人でも1万円を10年間払ってくれる人がいれば。
- ・必ずアジアのどこかで災害が起きるのでアジアの基金にしよう。 → めんどくさいことするなあ（行政）
- ・めんどくさいことを、せないきません。
- ・子供を作らなければいけません。
- ・人を集めるには「目標」がなければいけません。
- ・四国のように一つにまとまっているところから、一人が元気よく立ち上がらなければならないと思っています。

14:48~15:10 休憩

15:10~16:40 オカリナ演奏&トークセッション

○ホンヤ ミカコ（オカリナ奏者）

- ・北海道帯広市の出身 オカリナ奏者
- ・オカリナといえばこの曲 「コンドルは飛んでいく」
- ・遍路道を歩きながら作曲した 「小鳥のワルツ」 2曲演奏

- ・「風に抱かれて ～本谷美加子の四国巡礼」に出演。あれから10年たつ。5年前にエッセイ集を高知新聞社から出版。

15:20~ 住みます芸人登場 ←「あなたの街に住みます芸人 各県代表」

○香川住みます芸人 どさけん 「どうしよう どうしよう どうしようへいはちろう」

○高知住みます芸人 淀家萬月

- ・最初の二日間で10キロ痩せ、残りの期間で11キロ太った。

○愛媛住みます芸人 モストデンジャラストリオ

○徳島住みます芸人 キャンパスボーイ

- ・唯一の20代、がんばります。

宮宇地：8月11日から、各県をそれぞれ回られた。

ホンヤ：1年9ヶ月をかけて歩いたが、全ての季節を歩いた。真夏の暑さはこたえた。

宮宇地：88カ所全部を回られたということ。

ホンヤ：1,400キロあります。四国遍路が心の旅だということで、是非歩かせてくださいと思
った。高知県が道が長く・・・大変だった。室戸岬は80キロ、足摺岬までは90キロある。
90キロをテレビクルーと一緒になのでゆっくりと3泊4日で歩いた。

淀家：高知県だけで380キロある。37番から38番が約90キロ。

ホンヤ：他の3県に比べ、雄大な景色が楽しめる。遍路を始めようとする徳島は「^{ほっしん}発心の道場」。
厳しい高知の「修行の道場」を終え、愛媛は極楽浄土に向かう「^{ほだい}菩提の道場」。讃岐は煩惱が無
くなった「^{ねはん}涅槃の道場」。

宮宇地：讃岐は標高が一番高い札所がある。

どさけん：7分ぐらいでパーと行ける、921m、往復で2,000円。

ホンヤ：1番から10番までは楽に歩けるようになっている。30キロほどである。

宮宇地：ホンヤさん、四国の食べ物で一番は？

ホンヤ：なんといっても讃岐うどん。

宮宇地：思い出を一言ずつ。

キャンパスボーイ：水かけ祭り

宮宇地：遍路の醍醐味は、普段出会わない人と出会えること。

：みんな、病気は車のスピードで治ると思っているが、歩くスピードでしか治らない。突然病気になると思っているが、歩くスピードで病気になっている、だから歩くスピードでしか治らない。

：歩くスピードで発見がある。

：ひとりでもお遍路してみようという方が増えることを願います。

松岡（NPO法人「遍路とおもてなしネットワーク」の事務局長）：遍路道の世界遺産登録を目指しており、四国の活性化につながるのではないかと。

○「四国八十八カ所おもてなし大使」の任命

- ・本当二百キロぐらいですが、徳島の人はどうかなあと思いましたが、四国だけでなく全国に出ていく方と思う。ぜひ四国4県を歩いてください。
- ・歩いて下さいと申しましたが、歩けない方もいらっしゃるでしょう。お遍路さんに声をかけて、何か親切にしてあげてください。夏、ペットボトルを冷凍庫で凍らして、お遍路さんにあげてください。とても喜ばれます。お遍路さんが喜ぶことが、世界遺産への一歩だと思う。
- ・ご存じ無い方が、「お遍路」なんて辛気くさいとか思われているのが、今日のようなお笑いの中で情報発信することで、知ってもらえるのでは。

16:33～16:39 オカリナ演奏 「大地の風」

16:40 終了

- ・本日のフォーラムの様子は、10月26日付けの4新聞に掲載予定

—以上—

